

第7回「あいのうた～出会いから子育てまでの短歌コンテスト～」受賞作品一覧

1 最優秀賞（各部門1首）

一般の部	<p>パスタ茹で 吹きこぼれそうな 湯の如く 二歳の言葉 今あふれ出す</p> <p style="text-align: right;">富山県富山市 <small>かねまつ まゆみ</small> 兼松 真弓</p>
ジュニアの部	<p>「乗ってくか」免許をとった兄の声 隣から見る兄は大きい</p> <p style="text-align: right;">静岡県立小笠高等学校1年 <small>いしやま わかな</small> 石山 和奏</p>

2 優秀賞（各部門2首）

一般の部	<p>散歩道 狭き歩幅の子を追いて知りたる小さな世界の広さ</p> <p style="text-align: right;">東京都 <small>さかた ゆき</small> 坂田 由樹</p>
	<p>はいずってうぶ毛に汗ばむ後頭部見せつけてくれる生きる力を</p> <p style="text-align: right;">神奈川県川崎市 イトウ テルミ</p>
ジュニアの部	<p>席がえでとなりの君を見た途端ベートーベンの曲鳴り響く</p> <p style="text-align: right;">静岡市立長田南中学校1年 <small>いわもと まお</small> 岩本 麻央</p>
	<p>冷蔵庫 開くたびに 目に入る 昔描いた 母の似顔絵</p> <p style="text-align: right;">静岡県立科学技術高等学校3年 <small>ながしま だいき</small> 長島 大起</p>

3 審査員特別賞（各部門2首）

一般の部	<p>泣き止まぬ子の入園に先生は泣き続ける子はいませんと笑う</p> <p style="text-align: right;">愛媛県松山市 <small>つつみ よしひろ</small> 堤 善宏</p>
	<p>手料理に喜ぶ父に言えないな彼氏に作る練習なんて</p> <p style="text-align: right;">京都府宇治市 <small>のい さくら</small> 野井 さくら</p>
ジュニアの部	<p>キーボードの 予測変換 あを打てば 必ず君が いる温かさ</p> <p style="text-align: right;">愛知県立豊橋西高等学校3年 <small>さくま みづき</small> 佐久間 光月</p>
	<p>三年間 ずっと使った シャーペンは 壊れた今は 僕のキーホルダー</p> <p style="text-align: right;">静岡県立科学技術高等学校3年 <small>ますだ たいと</small> 増田 泰杜</p>

4 入選

<一般の部>

人混みに吾子を抱き寄せ見つめたり丸き瞳に上がる花火を	大阪府大阪市 <small>たじかわ のりこ</small> 多治川 紀子
初めての子を抱き退院する街の見るものすべてに祈りていたり	栃木県矢板市 <small>おぼら えみ</small> 小原 恵美
蜂の巣をレンコンと言ふ幼子は年が明けたら父親になる	静岡県静岡市 <small>すぎやま ひろよ</small> 杉山 博代
虫籠を首から下げし君がゐて張り切り過ぎし爺ちゃんがゐて	愛媛県松山市 <small>あきもと さとし</small> 秋本 哲
救急車 パトカーダンプ 消防車 振り返るのは もう私だけ	北海道札幌市 <small>さとう みどり</small> 佐藤 翠
散歩道 アリの行列 落ち葉拾い 我が子と味わう 時速10メートル	神奈川県横浜市 <small>たなか つとむ</small> 田中 務
乳足りた証に舌が「タッ」と鳴る 出来上がってるオヤッサン顔	東京都三鷹市 <small>かやぬま</small> 萱沼 まゆ
平安の時代に君と生きたなら私は何首贈っただろう	大阪府高槻市 <small>みづたに たかみ</small> 水谷 孝美
無くなった修学旅行を肴とし 酒を飲もうな クラスメイトよ	東京都大田区 <small>かみみつ かがき</small> 神光 輝紀
「おれらには、言葉はいらん。」あなたのね その声下手な字 好きなんだけど	静岡県浜松市 <small>むらまつ よしみ</small> 村松 淑美
靴下に残った砂で分かるんだ今日のあなたの冒険ルート	千葉県千葉市 <small>てらうち こ</small> 寺内 ゆり子
認知症 「好きな人から忘れてく」 嫌いで良いよ覚えていてよ	大阪府大阪市 <small>まえぞの ゆうこ</small> 前園 優子
園児とのコント仕立ての日々が過ぐ たまにCM入れてくれぬか	神奈川県横浜市 <small>たるい きょうこ</small> 樽井 恭子
孫が初めてバイトするレジ係離れたレジの列から覗く	奈良県葛城市 <small>やまもと はじめ</small> 山本 啓
おーちゃんが ママ大好きと 言う度に 血の繋がりを 超えてゆくのだ	東京都新宿区 なかさとみ

<ジュニアの部>

<p>とうちゃんのでっかいかげにかくれながら海までの暑い砂浜あるく</p> <p style="text-align: right;">山口県光市立光井小学校4年 <small>よこみち ひかる</small> 横道 玄</p>
<p>負けそうであろうそくになって溶けたくてそれでも私は私でいよう</p> <p style="text-align: right;">クラーク記念国際高等学校1年 <small>はやし りなこ</small> 林 莉奈子</p>
<p>卒業式 新たな道へ 進む君 一つのボタンと 私をおいて</p> <p style="text-align: right;">静岡県立三島南高等学校3年 <small>ふくしま あみ</small> 福島 亜実</p>
<p>おはようと キッチンで言うお父さん 美味しいご飯 いつもありがとう</p> <p style="text-align: right;">静岡県西遠女子学園中学校2年 <small>おだ かりん</small> 織田 花凜</p>
<p>友達と 遊びまわった あの公園 いまでは君との 待ち合わせ場所</p> <p style="text-align: right;">静岡県立天竜高等学校春野校舎1年 <small>やました こうた</small> 山下 航太</p>
<p>三年生 だめなぼくを かえたのは 三年同じ 大きい先生</p> <p style="text-align: right;">磐田市立豊田東小学校6年 <small>たなか ゆうじ</small> 田中 優志</p>
<p>「ありがとう」働く父の背に向かい声に出さずにつぶやいてみた</p> <p style="text-align: right;">静岡市立長田南中学校1年 <small>にしい ひめ</small> 西井 陽萌</p>
<p>思い出す ぬくもり詰まる 祖父の背を 祖父に似ている マリーゴールド</p> <p style="text-align: right;">静岡県立藤枝北高等学校3年 <small>しもじ なる</small> 下地 南瑠</p>
<p>コーヒーに 砂糖半分 ミルク二個 君の好みは 僕の好みに</p> <p style="text-align: right;">静岡県立静岡中央高等学校3年 <small>くりた しゅんすけ</small> 栗田 峻輔</p>
<p>風邪ひいて ほてるおでこに のせられた ひんやりとした 父の手の平</p> <p style="text-align: right;">静岡市立清水第二中学校2年 <small>えんどう まあや</small> 遠藤 麻綾</p>
<p>思い出は 心の奥の 引き出しに しまっておきたく なくなるものだ</p> <p style="text-align: right;">静岡県立科学技術高等学校3年 <small>みずの まさひと</small> 水野 雅仁</p>
<p>別れとは 心の骨折 痛みさえ 治れば強く 太い骨とす</p> <p style="text-align: right;">静岡県立科学技術高等学校3年 <small>いわさき そうだい</small> 岩崎 創大</p>
<p>ばあちゃんの めしくいながら じいちゃんと 見る野球は なんかよきかな</p> <p style="text-align: right;">静岡県立科学技術高等学校3年 <small>たかやま たくみ</small> 高山 匠</p>
<p>帰り道君がとなりにいるだけで 心と空が色づいていく</p> <p style="text-align: right;">静岡県立小笠高等学校3年 <small>みずの あいり</small> 水野 愛梨</p>
<p>ごめんねと 言わせる祖母の 遠い耳 ならば上げよう 届くまで声を</p> <p style="text-align: right;">静岡県立小笠高等学校3年 <small>まつしま りか</small> 松島 里香</p>